

Weekly report

MINKABU
THE INFONOID

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド
東京都港区東新橋1-9-1

今週の注目材料 = 中銀会合目白押し、利下げから大幅利上げまで

2023年6月19日

先々週の豪、カナダ、先週の米、ユーロ、日本に続いて、今週も中銀会合が目白押しとなっています。主なところだけでも火曜日の中国、木曜日のスイス、英国、トルコ、メキシコの会合が予定されています（ハンガリー、ブラジル、フィリピン、インドネシア、ノルウェーなどもあります）。

各国中銀の姿勢・状況の違いがよくわかる予想状況となっています。

利下げが見込まれているのが20日の中国人民銀行(中央銀行)です。人民銀行は13日、7日物リバースレポ金利を予想外に引き下げ、従来の2.0%から1.9%としました。引き下げは2022年8月以来です。15日には1年物中期貸出制度(MLF)を従来の2.75%から2.65%に引き下げました。これらを受けて主要政策金利とされる最優遇貸出金利(LPR:ローンプライムレート)についても、1年物を従来の3.65%から3.55%へ、5年物を従来の4.30%から4.20%へ、それぞれ0.1%の引き下げが見込まれています。

中国では国内外の需要の鈍化や、規制などの影響を受けた不動産部門の低迷などによる、景気の不透明感が懸念されており、利下げによって景気支援姿勢を示す形となっています。

据え置きが見込まれているのが22日(発表は日本時間23日午前4時)のメキシコ銀行(中央銀行)です。メキシコ中銀は前回5月18日の会合で政策金利を11.25%で据え置くことを決定しました。メキシコ中銀は2021年6月から利上げをスタートし、2023年3月まで15回連続で利上げを実施してきました。5月の消費者物価指数は前年比+5.84%とピークの+8.7%から順調に落ちてきており、今回も据え置きが見込まれています。

大幅利上げが見込まれているのがトルコ中央銀行です。5月の大統領選に勝利し、今後5年間の政権運営継続が決まったエルドアン大統領は、新内閣にかつて財務相や副首相を務めたシムシェキ氏を抜擢。同氏はエルドアン大統領の低金利志向などに反対して対立し、2018年に政権を離れた人物。米メリルリンチでストラテジストを務めるなど、マーケットにも精通しています。さらに、中央銀行総裁として、5月に破綻したファーストリパブリックバンクで共同CEOを務めていたエルカン氏を指名。米国の大学院で金融工学の博士号を取得し、ゴールドマンサックスに約10年務めていた同氏も市場には精通しています。

新財務相・中央銀行総裁のもと、これまでの低金利路線が一気に変化するという見方が広がっています。市場の予想はかなり分かれています。現行の8.50%から20%-30%へ一気に引き上げるとの見通しが広がっています。ゴールドマンサックスは一時的措置として40%まで引き上げるとの予想を示しています。

スイス国立銀行(中央銀行)は0.25%と0.5%の利上げ見通しで見方が分かれています。専門家予想と短期金利市場での織り込みは、0.25%見通しがやや優勢となっていますが、ともに割合は60%台に留まっており、0.5%見通しが30%台とそれなりの割合で残っています。なお、スイスは年4回しか会合がありませんが、9月、12月ともに追加利上げが見込まれています。

見方が分かれていることもあり、どちらになった場合でも相場へそれなりに影響が出ると見込まれます。

イングランド銀行(中央銀行)は0.25%利上げ見通しで見方がほぼ一致しています。2021年12月に利上げを開始した英中銀は、前回5月まで12会合連続での利上げを実施してきました。直近2回は0.25%利上げとなっており、投票結果はともに7対2(2名は据え置き主張)となっています。今回も同様の数字が見込まれています。

この後8月、9月、11月、12月の残り4会合でも、それぞれ0.25%の利上げが予想されています。

なお、直近2会合では据え置きを主張。今回も同様の主張が見込まれるテンレイロ委員は今回が任期中最後の会合となります。次期委員となるグリーン氏(クロール社グループチーフエコノミスト)は5月の利上げは適切と発言するなど、テンレイロ委員よりもタカ派な姿勢を示しています。

波乱要素は少ないですが、投票結果が予想通り7対2になるかどうかなどには注目。据え置きへの投票が増えているようだと、ポンド売りにつながる可能性があります。

山岡和雅 | MINKABU PRESS編集部

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行(旧ナショナルウェストミンスター銀行)移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後にGCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ(現ミンカブ・ジ・インフォノイド)グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。